



2月  
17日

## 国東小学校アドベンチャークラブが しいたけの駒打ち体験

2月17日（金）、ペットボトルロケットや竹とんぼの製作など、さまざまな体験活動に取り組む、国東小学校アドベンチャークラブの児童15人が、弥生のムラでしいたけの駒打ち体験を行いました。

当日は、弥生のムラ職員の指導で、子どもたちがしいたけの駒をクヌギの木に打ち込みました。来年の12月頃、弥生のムラ南側の「みんなの森」で収穫できるとのことです。子どもたちは「しいたけができるのが楽しみです」と期待を膨らませていました。

じゃだに

## 蛇谷太鼓の伝統を継承 6年生から5年生へバトンタッチ

2月  
16日

2月16日（木）、武蔵西小学校に31年前から伝わる「蛇谷太鼓」の引き継ぎ式が、同校で開催されました。全校児童45人と保護者や地域住民ら約40人が参加。6年生6人による蛇谷太鼓の素材となった蛇谷伝説についての研究発表に続き、全校児童による演奏の披露があり、6年生が5年生へ衣装を着せて、伝統を次の世代へ継承しました。

6年生の光本綺香さんと5年生の末綱涼央さんが、それぞれ学年代表のことばを述べ、伝統をしっかりと引き継ぐことを約束しました。



2月  
12日

## 丸小野子供修正鬼会

2月12日（日）、武蔵町丸小野で「丸小野子供修正鬼会」（市指定無形民俗文化財）が行われました。この行事は、子どもの無病息災を祈願し、江戸時代末期の天保年間（1830～1844年）が起源と伝えられており、仲西・柿園地区が輪番で座元を受け持っています。今年の座元は三浦一生さん宅で、地元の都留悠太君、長廣徹也君、都留圭佑君、麻生怜生君、麻生由宇君の5人が鬼の面をつけ、松明を持って見物客の足元に火の粉をかけ、無病息災を祈願しました。

## 春の訪れを告げる伝統行事 修正鬼会

1月  
28日

「修正鬼会」（国指定重要無形民俗文化財）が1月28日（土）に成仏寺（国東町成仏）で行われました。

午後7時頃、川で身を清めたタイレンが大松明に点火し、国東高校柔道部の生徒が加勢して大松明を山門前まで運びました。

午後10時半過ぎに仏の化身とされる「災払鬼」「荒鬼」「鎮鬼」が登場。鬼とタイレンが輪を作って参拝客を囲み、松明で頭や肩をたたいて、この一年の五穀豊穡、無病息災を祈りました。この後、鬼は寺を飛び出して加持祈禱しながら地区内の家庭をまわりました。

